

専門ゼミB		演習	教授 大西 一成	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300302	

1. テーマ

後期における本ゼミでのテーマは、前期同様、国内外の経済、ビジネスをその研究テーマとして論文を作成し発表することにある。前期の研究成果を基礎として、自己の問題意識をさらに発展させることを目指す。より具体的には前期同様「論文作成と発表」による研究活動が本ゼミの活動テーマである。

2. ゼミのねらい・概要

本ゼミでは身近なテーマから国際社会が直面する様々な通商問題、さらには企業の海外進出などに関する研究を目指す。そのための基礎的な経済理論や考え方についても取り上げる。より具体的には、我々の暮らしに身近なテーマである少子高齢化問題、地域活性化問題、年金や介護など社会保障問題を取り上げる。また国際社会に関するテーマとしては、自由貿易協定や関税政策にみる通商問題、海外進出企業の戦略等を取り上げる。本ゼミではなによりもゼミ生の問題意識に基づいて研究課題に取り組むことを重視する。4年次における卒業研究に向けた基礎力を築くとともに、本ゼミでの研究論文が、4年次の卒業論文の素地となることを目指す。

3. ゼミ計画

1. 後期におけるゼミの進め方について	9. 中間発表（経済テーマグループ）
2. 後期の研究テーマ設定に向けた討論	10. 中間発表（ビジネステーマグループ）
3. 後期の研究テーマ発表会の準備	11. 論文完成に向けたディスカッション
4. 研究テーマ発表会と課題整理	12. 論文最終発表（経済テーマグループ）
5. 研究テーマに関する論文作成準備と再検討	13. 論文最終発表（ビジネステーマグループ）
6. 研究テーマに関する論文作成準備と再検討	14. 卒業論文作成に向けて
7. 論文作成と添削指導（経済テーマグループ）	15. 総括と4年次における卒業論文の作成計画について
8. 論文作成と添削指導（ビジネステーマグループ）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミにおける予習・復習に必要な時間は概ね週に2～3時間であろう。こうした予習・復習には論文作成はもとより、プレゼンテーションのための準備、ディスカッション、調査等も含まれる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

論文の添削指導及び返却はもとより中間・最終発表等において適宜指示する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

到達目標は論文作成および発表能力にある。最終目標は、4年次における卒業成果物を作成する基礎力の修得にある。

7. 成績評価の方法・基準

ディスカッション、中間・最終発表等によるゼミへの参加度（30%）、論文の内容（70%）によって判断する。

8. テキスト・参考文献

各ゼミ生のテーマごとに文献選定のための指導を行う。またゼミ全体でも参考となる論文・論説等も適宜配布する。

9. 受講上の留意事項

文献やデータによる研究のみならず、夏休み等を利用したフィールドワークなど幅広い調査研究活動を求めたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。